

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 千早赤阪村立赤阪小学校 干場 政亮

研究主題

「意図を深く汲み取りながら思考し判断し表現する力を養い
粘り強くチャレンジし続ける態度の育成」

※今年度の重点目標に _____ を引いています。

1. 学年・組 千早赤阪村立赤阪小学校 第6学年1組 (14名)

2. 単元名 ウルトラ村！～千早赤阪村のゴミ問題について、出来ることを考えよう～

3. 単元の目標

地域のゴミ拾いなどの活動を通して、村内のゴミのポイ捨て問題を啓発するために何ができるか思考・判断し、探究的な学習の良さを理解し、自分たちの生活の中でできるごみ問題について主体的・協働的に考えるとともに、それらを多くの人に伝え生活にいかそうとする態度を養う。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①村のゴミ問題について取り組むべきことを理解している。</p> <p>②他教科で習得したことや探究的な学習の中で得た手法や手順を適切に選択して使うことができる。</p> <p>③村のゴミ問題への取り組みについて協働的・探究的に取り組むことによって、自分の生き方についても考えられる良さを理解する。</p>	<p>①村のゴミ問題について考えた課題をもとに、解決の見通しを立てる。</p> <p>②ゴミ問題についてわかったことを分析し、必要な情報を収集している。</p> <p>③村のゴミ問題について収集した情報を比較・分類・関連付け・評価するなど整理分析する。</p> <p>④他教科の学習を適用したり組み合わせたりして、目的や意図・伝える相手に応じて自分の考えが伝わるように工夫・表現する。</p>	<p>①村のゴミ問題の取り組みの中で得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら協働して、粘り強く取り組もうとする。</p> <p>②ごみアートやゴミマップ作成のために多様な意見を尊重し、互いの良さを生かしながら、自らの学習を調整しようとする。</p> <p>③地域との関わりの中で、自分でできることを見つけようとする。</p>

5. 単元設定の理由

本学級の児童は、何事にも前向きで、素直に取り組むことができる。しかし、物事を自分事と捉えることに時間を要する時もあり、給食の準備片付けや教室のゴミ拾いなど、クラス全体で共有すべき課題に、どこか人を頼りにする様子も見られる。

そこで、自分事として捉え主体的な学びに向かう習慣を身に着けるために、身近なところに目を向ける教材がよいと考えた。本校の教育目標「地域学校協働本部活動の推進」をふまえ、村のために自分たちができることを考えていく教材を探した。まず自分たちが村について知っていることを話し合うと、「棚田がきれい」「自然が美しい」など、村の良い所はすぐに見つけることができた。その後、1年間かけて取り組むテーマを見つけるために、村内の各所を探検することにした。その際、道路脇にゴミのポイ捨てが多いことに気が付き、「村内のゴミのポイ捨てに対して行動したい」と思ったのが、この教材に至ったきっかけである。千早赤阪村の自然を守るために自分事として捉えることができる教材であると考える。千早赤阪村のゴミ問題について考

るこの1年間を通して、自分たちが暮らす千早赤阪村の自然環境について主体的に考え方行動できる姿勢を育てたい。

そして、村で拾ったゴミのみをアートに使うことで、村内でポイ捨てされたゴミの種類や量を村内外の人間に周知し、ポイ捨て問題に一石を投じ、村の美しい自然を守り、村のゴミ問題啓発につなげたい。

6. 学習の流れ

各学年に年間計画を掲示していますのでそちらをご覧ください。

7. 本時の展開

(1) 本時の目標

ごみ問題の啓発をより効果的に行うために、ごみアートやゴミマップ作成のために、多様な意見を尊重し互いの良さを生かしながら自らの学習を調整しようとする。【主体】②

(2) 本時の評価規準と想定される児童の姿

十分満足できる姿	おおむね満足できる姿	支援が必要な姿と支援法
ゴミ問題の啓発をより効果的に行うにはどのようにすればよいかを話し合う際、多様な意見を尊重し、自分の意見に取り入れ具体的に意見を伝えている。	ゴミ問題の啓発をより効果的に行うにはどのようにすればよいかを話し合う際、多様な意見をもとに考え、意見を伝えている。	同じグループのメンバーから意見を聞いたり、先生と一緒に考え発表するよう伝える。

(3) SEのテーマを意識した本時の目指す子ども像

前回までの活動をもとに再度話し合うことを通して、粘り強くチャレンジする児童を目指す。

(4) 展開 (45 / 70 時間)

時間	学習活動 (○) 研究主題に関わる場面 (◎)	教師の支援 (○) 評価規準及び評価方法 (☆) →その手立て (※)
つかむ 10分	I. 本時の見通しを持つ ○前時を振り返る ○本時のめあてを確認する。	○グループ内での意見を聞き、話し合う時間を設ける。
深める 15分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【めあて】 ごみ集めの結果を分析し、どうアートに反映させるか、多様な意見をしっかり聞き、粘り強く考え話し合う。 </div> ○ごみ集めの結果（種類、量など）から、収集物をどう扱っていくか考える。 ○より良い意見を出すためにグループ毎に話し合いをする。 ○グループで話し合った結果をクラスで共有し、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。	※粘り強く自分の考えをまとめて伝えるために、グループメンバーの話をまず聞いたり、教師が懸念点や疑問を投げかけたりして、話し合いのきっかけを作る。
いかす 20分	○次時について考え、振り返りをする。	☆村のゴミ問題の取り組みの中で得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら協働して、粘り強く取り組もうとする。（発言・行動観察） 【主体】② ○クラス全体で意見の共有をしたこと振り返らせる。